

血液事業情報システム（次期システム）の 導入について



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

血液事業情報システムの導入について【経緯】

血液事業統一システム（現行システム）：平成16年に導入

- ・平成18年度 現行システムの総括を開始
- ・平成19年度 システム更新の是非について検討
- ・平成20年度から21年度
 基本構想の纏めと 要件定義を実施
- ・平成22年度 設計開始
- ・平成24年度より
 血液事業情報システムの一部を先行稼動

血液事業情報システム(次期システム)は、

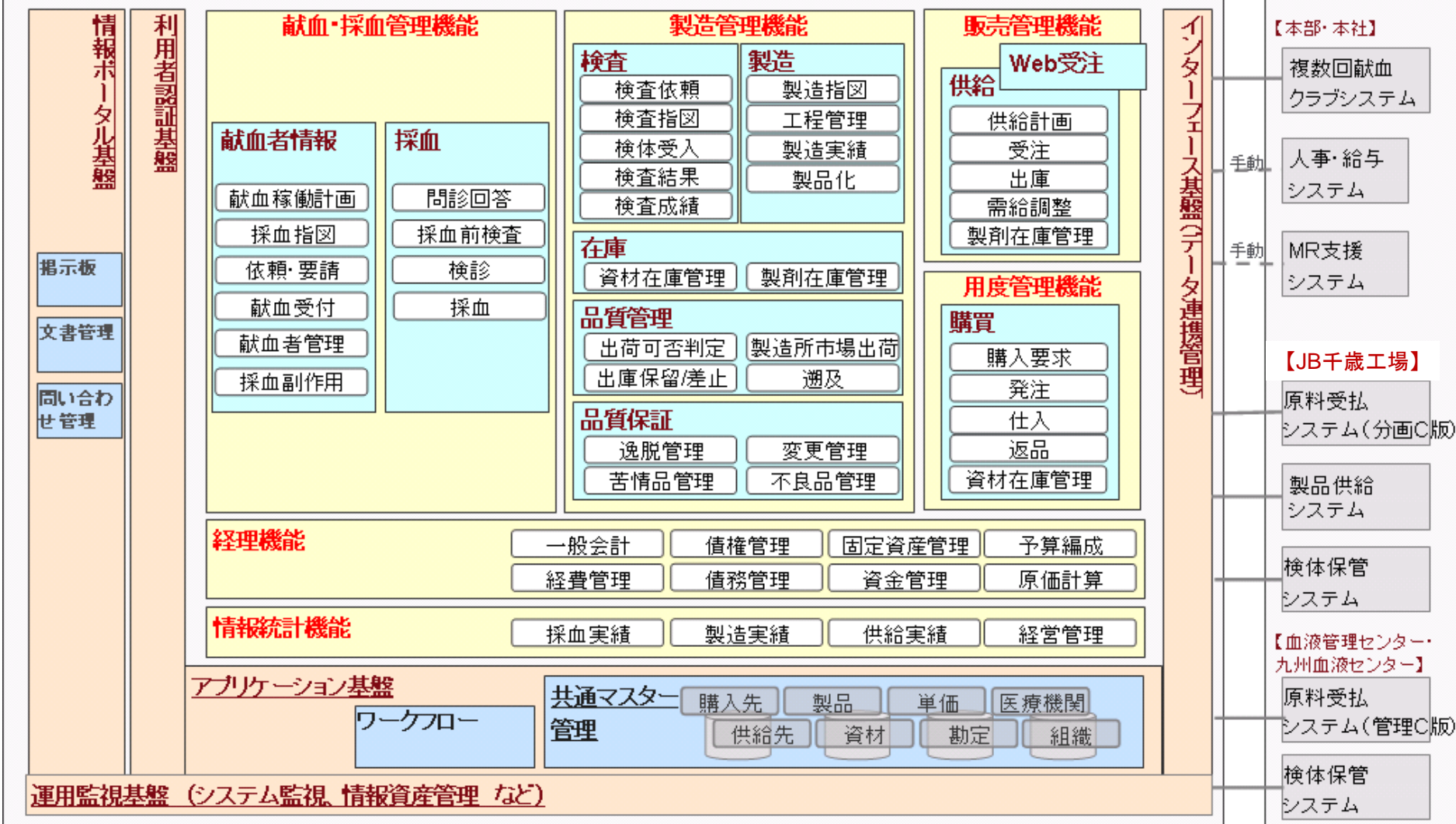
献血・採血管理機能、製造管理機能、販売管理機能、情報統計機能、
経理機能、用度管理機能から構成

- ・平成24年度より経理機能、用度管理 機能を先行稼動
(広域事業運営体制に合わせて)
- ・献血・採血管理機能、製造管理機能、販売管理機能、情報統計機能
については、平成26年5月～6月にかけて 段階的に導入する予定

血液事業所法システム(次期システム)全体像

次期システムは赤字で示す機能から構成されています。

血液事業情報システム



血液事業情報システム(次期システム)は、現行システムと比べ下記の2点が異なります。

献血・採血管理機能：

診療録 紙の運用から電子化へ

販売管理機能：

血液製剤、血漿分画製剤の発注・受注

電話、ファックスの他に、Web(オンライン化)による
方法を追加

血液事業情報システム（次期システム）の段階的稼動予定は下記のとおりです。

販売管理機能（供給）の全国一斉稼動：平成26年5月11日（日）※

献血・採血管理機能、製造管理機能、情報統計機能

北海道	<u>平成26年5月14日（水）から</u>
九州	<u>5月28日（水）から</u>
西日本（近畿、東海北陸、中四国）	<u>6月11日（水）から</u>
東日本（関東甲信越、東北）	<u>6月25日（水）から</u>

※ Webによる発注・受注につきましては、使用方法等の説明が必要ですので開始期日は改めてご連絡する予定です。